

令和3年度 淡路市地球温暖化対策実行計画実施状況報告

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成30年度に策定した「淡路市地球温暖化対策実行計画 第3次」は、市が率先して環境に配慮した事務、事業を推進することで、地球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO₂)の削減を目指すものです。

【計画の概要】

- 計画の基準年：平成25年度
- 実行計画期間：令和元年度～令和5年度、5年間
- 調査対象施設：市が管理する全事務、事業、指定管理施設を含む
- 基準年のCO₂排出量：15,553トン、基準排出量
- CO₂削減目標：基準排出量に対して18.9%削減
- CO₂削減の取り組み：施設の省エネルギー化、ごみ減量化等

【令和3年度CO₂排出状況】

- CO₂排出量は15,187トン、基準排出量比2.4%減少
- CO₂排出量の34.4%は電気の使用に伴う排出です。
- CO₂排出量の32.8%はプラスチックごみの焼却処理に伴う排出です。
- CO₂排出量減少の主要因
 - ❖ 電気使用量の減少等：淡路 東浦浄化センターにおける設備の稼働状況の変動による電気使用量の減少、排出量を算定する際に使用する排出原単位※の低減により、CO₂排出量が基準年比で33.9%減少しました。

※電力事業者が発電する際に排出されるCO₂の量を示すもので、火力発電割合が小さくなったり、再生可能エネルギーが増えたりすると低減します。

❖ ごみ焼却量の減少：夕陽が丘クリーンセンターにおいて、ごみに含まれる廃プラスチック量の減少により、ごみの焼却処理に伴うCO₂排出量が基準年比で3.4%減少しました。

【CO₂削減の方向性】

- エネルギー使用量のうち空調、冷暖房の占める割合が大きいことから、空調、冷暖房、温度の適正な管理やその他の節電の取り組み等を継続的に行います。
- 施設の運用改善やOA機器、照明について、職員一人ひとりの取り組みを継続的に実施し、定着化させていきます。
- 廃プラスチック量の更なる減少に向けた取り組みについては、市内コプラザでのプラスチックごみ無料受入れによるごみ減量や、ごみの分別リサイクル等による再利用、再資源化の啓発を行っていきます。
- 市民が利用する施設では、利用者へ協力を求め、市民との協働による取り組みを行います。

地球温暖化防止に向けて、ごみ減量化や節電対策等、市民の皆様のご協力をお願いします。

(単位：t-CO₂)

項目	平成25年度 (基準年)	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	排出量	排出量	排出量	排出量	対基準年増減率		
燃料	ガソリン	229	186	182	-47	-20.6%	
	軽油	173	2,803	2,740	2,815	2,642	1529.3%
	灯油	538	518	450	413	-125	-23.2%
	A重油	1,282	1,245	1,078	1,120	-162	-12.6%
	LPG	268	208	396	453	185	69.1%
電気	7,903	5,297	4,865	5,222	-2,681	-33.9%	
廃プラスチック焼却	5,160	5,537	6,682	4,983	-177	-3.4%	
温室効果ガス排出量	15,553	15,795	16,403	15,187	-366	-2.4%	

